



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 光
代表者名 代表取締役社長 金 森 武
(コード番号：3160)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 秋 山 大 介
兼総務部長
(TEL. 0584-89-7777)

(訂正) 平成 26 年 5 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について

当社は、平成 27 年 4 月 30 日付「社内調査委員会からの調査報告書の受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 12 月 25 日付「平成 26 年 5 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日

平成26年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	21,809	7.1	△123	—	△123	—	△320	—
25年5月期第2四半期	20,367	2.2	△110	—	△95	—	△124	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 △318百万円 (—%) 25年5月期第2四半期 △140百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年5月期第2四半期	△54.12	—
25年5月期第2四半期	△21.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
26年5月期第2四半期	16,492	1,796	1,796	1,796	10.9	303.35
25年5月期	16,652	2,144	2,144	2,144	12.9	362.13

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 1,796百万円 25年5月期 2,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	期末	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年5月期	—	5.00	—	5.00	5.00	10.00
26年5月期	—	5.00	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,718	11.0	272	24.5	273	7.0	150	73.8	25.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	6,021,600 株	25年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	100,004 株	25年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	5,921,596 株	25年5月期2Q	5,864,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策への期待感から円安・株高が進み、輸出環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇、競争激化による販売価格の低下など、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は218億9百万円（前年同期比7.1%増）となったものの、食品価格の高騰や、競合他社との販売競争激化による売上総利益の減少、電気料金の上昇による光熱費の増加等により、営業損失は1億23百万円（前年同期は営業損失1億10百万円）、経常損失は1億23百万円（前年同期は経常損失95百万円）、連結子会社株式会社マリンデリカのナマコ取引に関して水産品事業関連損失2億7百万円を特別損失に計上したこと等により四半期純損失は3億20百万円（前年同期は四半期純損失1億24百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。

また、新たな教育研修を導入し、提案型営業の強化に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は133億59百万円（前年同期比9.3%増）となり、営業損失は97百万円（前年同期は営業損失88百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買い物いただけるよう、平成25年6月に高針店（名古屋市名東区）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。前連結会計年度に開設した豊橋佐藤店、竹ノ塚店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。

一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は77億24百万円（前年同期比1.0%増）となり、営業利益は4億64百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として38店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンデリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、輸出事業の強化など国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は7億25百万円（前年同期比45.4%増）となり、営業損失は55百万円（前年同期は営業損失1億53百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して貸倒引当金が2億21百万円増加したものの受取手形及び売掛金が2億86百万円増加したこと等により、流動資産は全体で43百万円増加しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億10百万円減少したこと等により、全体で2億2百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して1億59百万円減少し、164億92百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が2億92百万円増加したこと等により、流動負債は全体で2億38百万円増加しました。一方固定負債は、全体で49百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して1億88百万円増加し、146億96百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が3億50百万円減少したこと等により、全体で3億48百万円減少し17億96百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは2億76百万円の支出となりました。これは、減価償却費2億26百万円の計上、貸倒引当金の増加2億20百万円があったものの、税金等調整前四半期純損失3億37百万円の計上、売上債権の増加2億86百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは27百万円の支出となりました。これは、投資有価証券の売却1億52百万円等の収入があったものの、有形固定資産の取得75百万円、投資有価証券の取得55百万円、敷金及び保証金の差入35百万円等の支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1億13百万円の収入となりました。これは、長期借入金の返済11億44百万円等の支出があったものの、短期借入金の純増額2億92百万円、長期借入れによる10億円等の収入によるものであります。

これらに為替差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、3億17百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年12月19日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,884	667,794
受取手形及び売掛金	3,921,926	4,208,541
有価証券	—	14,012
商品	2,811,383	2,734,029
貯蔵品	14,231	13,752
繰延税金資産	85,745	107,314
その他	722,432	933,580
貸倒引当金	△18,323	△240,259
流動資産合計	8,395,279	8,438,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,119,263	4,008,578
その他(純額)	951,130	957,495
有形固定資産合計	5,070,393	4,966,073
無形固定資産		
	55,576	46,235
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744,406	1,637,137
その他	1,411,007	1,427,834
貸倒引当金	△24,500	△23,304
投資その他の資産合計	3,130,914	3,041,668
固定資産合計	8,256,884	8,053,977
資産合計	16,652,164	16,492,742

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,695,593	4,620,014
短期借入金	2,246,000	2,538,000
1年内返済予定の長期借入金	2,076,986	2,014,194
未払法人税等	51,355	14,866
賞与引当金	127,962	135,029
ポイント引当金	31,706	35,197
その他	590,235	700,539
流動負債合計	9,819,840	10,057,840
固定負債		
長期借入金	3,915,619	3,834,044
退職給付引当金	202,697	212,006
役員退職慰労引当金	232,985	215,018
資産除去債務	243,972	246,478
その他	92,641	131,040
固定負債合計	4,687,915	4,638,587
負債合計	14,507,755	14,696,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,288,914	938,834
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,108,876	1,758,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,717	36,056
繰延ヘッジ損益	△183	1,462
その他の包括利益累計額合計	35,533	37,519
純資産合計	2,144,409	1,796,314
負債純資産合計	16,652,164	16,492,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	20,367,819	21,809,441
売上原価	16,344,095	17,651,756
売上総利益	4,023,724	4,157,685
販売費及び一般管理費	4,133,752	4,280,728
営業損失(△)	△110,028	△123,043
営業外収益		
受取利息	6,464	5,774
受取配当金	2,947	4,139
受取賃貸料	21,336	21,879
受取手数料	9,088	9,622
その他	31,314	11,706
営業外収益合計	71,152	53,122
営業外費用		
支払利息	25,587	25,211
賃貸費用	19,213	18,868
固定資産除売却損	9,648	5,841
その他	2,037	3,653
営業外費用合計	56,487	53,573
経常損失(△)	△95,363	△123,494
特別利益		
投資有価証券売却益	85	2,731
特別利益合計	85	2,731
特別損失		
減損損失	—	9,295
水産品事業関連損失	—	207,905
特別損失合計	—	217,200
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,278	△337,963
法人税、住民税及び事業税	15,664	4,916
法人税等調整額	13,800	△22,407
法人税等合計	29,465	△17,490
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,743	△320,472
四半期純損失(△)	△124,743	△320,472

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,743	<u>△320,472</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,458	339
繰延ヘッジ損益	△843	1,646
その他の包括利益合計	△15,302	1,985
四半期包括利益	△140,045	<u>△318,486</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,045	<u>△318,486</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,278	△337,963
減価償却費	245,485	226,409
減損損失	—	9,295
のれん償却額	983	983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39,628	220,740
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,714	7,067
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,320	3,490
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,402	9,309
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,789	△17,967
受取利息及び受取配当金	△9,412	△9,914
支払利息	25,587	25,211
固定資産除売却損益(△は益)	9,648	5,841
投資有価証券売却損益(△は益)	△85	△2,731
売上債権の増減額(△は増加)	△283,059	△286,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,863	77,833
未収入金の増減額(△は増加)	18,640	49,450
仕入債務の増減額(△は減少)	254,797	△75,579
未払金の増減額(△は減少)	5,808	30,929
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△39,140	△249,511
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,370	25,581
その他	90,015	67,648
小計	106,926	△220,491
利息及び配当金の受取額	3,824	4,818
利息の支払額	△25,743	△24,944
法人税等の支払額	△142,407	△35,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,399	△276,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△208,863	△75,046
無形固定資産の取得による支出	△8,365	△7,813
投資有価証券の取得による支出	△305,471	△55,476
投資有価証券の売却による収入	50,531	152,657
敷金及び保証金の差入による支出	△12,370	△35,278
敷金及び保証金の回収による収入	—	20
長期貸付金の回収による収入	74	75
保険積立金の解約による収入	16,320	—
その他	△10,746	△6,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478,890	△27,005

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△92,000	292,000
長期借入れによる収入	1,600,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,050,315	△1,144,367
リース債務の返済による支出	△2,027	△5,076
株式の発行による収入	21,386	—
配当金の支払額	△29,054	△29,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	447,988	113,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	153
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△88,249	△190,089
現金及び現金同等物の期首残高	472,026	507,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	383,777	317,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,217,448	7,651,642	498,727	20,367,819	—	20,367,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	9,882	28,648	38,533	△38,533	—
計	12,217,451	7,661,524	527,376	20,406,352	△38,533	20,367,819
セグメント利益又は損失(△)	△88,199	565,234	△153,124	323,910	△433,938	△110,028

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△433,938千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,359,257	7,724,881	<u>725,303</u>	<u>21,809,441</u>	—	<u>21,809,441</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	13,052	48,379	61,431	△61,431	—
計	13,359,257	7,737,933	<u>773,682</u>	<u>21,870,873</u>	△61,431	<u>21,809,441</u>
セグメント利益又は損失(△)	△97,546	464,759	<u>△55,725</u>	<u>311,487</u>	△434,530	<u>△123,043</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△434,530千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「水産品事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において9,295千円(うち、のれんの減損損失は4,917千円)であります。

(訂正前)



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日

平成26年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	22,355	9.8	△107	—	△108	—	△88	—
25年5月期第2四半期	20,367	2.2	△110	—	△95	—	△124	—

(注)包括利益 26年5月期第2四半期 △86百万円 (—%) 25年5月期第2四半期 △140百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	△14.87	—
25年5月期第2四半期	△21.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		%	円 銭
26年5月期第2四半期	16,725	342.60	2,028	342.60	12.1	342.60	
25年5月期	16,652	362.13	2,144	362.13	12.9	362.13	

(参考)自己資本 26年5月期第2四半期 2,028百万円 25年5月期 2,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年5月期	—	5.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,718	11.0	272	24.5	273	7.0	150	73.8	25.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	6,021,600 株	25年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	100,004 株	25年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	5,921,596 株	25年5月期2Q	5,864,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策への期待感から円安・株高が進み、輸出環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇、競争激化による販売価格の低下など、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は223億55百万円（前年同期比9.8%増）となったものの、食品価格の高騰や、競合他社との販売競争激化による売上総利益の減少、電気料金の上昇による光熱費の増加等により、営業損失は1億7百万円（前年同期は営業損失1億10百万円）、経常損失は1億8百万円（前年同期は経常損失95百万円）、四半期純損失は88百万円（前年同期は四半期純損失1億24百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。

また、新たな教育研修を導入し、提案型営業の強化に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は133億59百万円（前年同期比9.3%増）となり、営業損失は97百万円（前年同期は営業損失88百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成25年6月に高針店（名古屋市名東区）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。前連結会計年度に開設した豊橋佐藤店、竹ノ塚店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。

一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は77億24百万円（前年同期比1.0%増）となり、営業利益は4億64百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として38店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、輸出事業の強化など国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は12億71百万円（前年同期比154.9%増）となり、営業損失は40百万円（前年同期は営業損失1億53百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が2億86百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億66百万円増加しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億9百万円減少したこと等により、全体で1億93百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して72百万円増加し、167億25百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が2億92百万円増加したこと等により、流動負債は全体で2億38百万円増加しました。一方固定負債は、全体で49百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して1億88百万円増加し、146億96百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億17百万円減少したこと等により、全体で1億15百万円減少し20億28百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは2億76百万円の支出となりました。これは、減価償却費2億26百万円の計上があったものの、税金等調整前四半期純損失1億5百万円の計上、売上債権の増加2億86百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは27百万円の支出となりました。これは、投資有価証券の売却1億52百万円等の収入があったものの、有形固定資産の取得75百万円、投資有価証券の取得55百万円、敷金及び保証金の差入35百万円等の支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1億13百万円の収入となりました。これは、長期借入金の返済11億44百万円等の支出があったものの、短期借入金の純増額2億92百万円、長期借入れによる10億円等の収入によるものであります。

これらに為替差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、3億17百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年12月19日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,884	667,794
受取手形及び売掛金	3,921,926	4,208,541
有価証券	—	14,012
商品	2,811,383	2,734,029
貯蔵品	14,231	13,752
繰延税金資産	85,745	107,314
その他	722,432	933,580
貸倒引当金	△18,323	△17,134
流動資産合計	8,395,279	8,661,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,119,263	4,009,896
その他（純額）	951,130	958,823
有形固定資産合計	5,070,393	4,968,720
無形固定資産		
無形固定資産	55,576	52,884
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744,406	1,637,137
その他	1,411,007	1,427,834
貸倒引当金	△24,500	△23,304
投資その他の資産合計	3,130,914	3,041,668
固定資産合計	8,256,884	8,063,272
資産合計	16,652,164	16,725,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,695,593	4,620,014
短期借入金	2,246,000	2,538,000
1年内返済予定の長期借入金	2,076,986	2,014,194
未払法人税等	51,355	14,866
賞与引当金	127,962	135,029
ポイント引当金	31,706	35,197
その他	590,235	700,539
流動負債合計	9,819,840	10,057,840
固定負債		
長期借入金	3,915,619	3,834,044
退職給付引当金	202,697	212,006
役員退職慰労引当金	232,985	215,018
資産除去債務	243,972	246,478
その他	92,641	131,040
固定負債合計	4,687,915	4,638,587
負債合計	14,507,755	14,696,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,288,914	1,171,254
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,108,876	1,991,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,717	36,056
繰延ヘッジ損益	△183	1,462
その他の包括利益累計額合計	35,533	37,519
純資産合計	2,144,409	2,028,734
負債純資産合計	16,652,164	16,725,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	20,367,819	22,355,475
売上原価	16,344,095	18,182,570
売上総利益	4,023,724	4,172,905
販売費及び一般管理費	4,133,752	4,280,728
営業損失(△)	△110,028	△107,823
営業外収益		
受取利息	6,464	5,774
受取配当金	2,947	4,139
受取賃貸料	21,336	21,879
受取手数料	9,088	9,622
その他	31,314	11,706
営業外収益合計	71,152	53,122
営業外費用		
支払利息	25,587	25,211
賃貸費用	19,213	18,868
固定資産除売却損	9,648	5,841
その他	2,037	3,653
営業外費用合計	56,487	53,573
経常損失(△)	△95,363	△108,274
特別利益		
投資有価証券売却益	85	2,731
特別利益合計	85	2,731
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,278	△105,543
法人税、住民税及び事業税	15,664	4,916
法人税等調整額	13,800	△22,407
法人税等合計	29,465	△17,490
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,743	△88,052
四半期純損失(△)	△124,743	△88,052

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,743	△88,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,458	339
繰延ヘッジ損益	△843	1,646
その他の包括利益合計	△15,302	1,985
四半期包括利益	△140,045	△86,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,045	△86,066
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,278	△105,543
減価償却費	245,485	226,409
のれん償却額	983	983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39,628	△2,384
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,714	7,067
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,320	3,490
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,402	9,309
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,789	△17,967
受取利息及び受取配当金	△9,412	△9,914
支払利息	25,587	25,211
固定資産除売却損益(△は益)	9,648	5,841
投資有価証券売却損益(△は益)	△85	△2,731
売上債権の増減額(△は増加)	△283,059	△286,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,863	77,833
未収入金の増減額(△は増加)	18,640	49,450
仕入債務の増減額(△は減少)	254,797	△75,579
未払金の増減額(△は減少)	5,808	30,929
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△39,140	△249,511
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,370	25,581
その他	90,015	67,648
小計	106,926	△220,491
利息及び配当金の受取額	3,824	4,818
利息の支払額	△25,743	△24,944
法人税等の支払額	△142,407	△35,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,399	△276,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△208,863	△75,046
無形固定資産の取得による支出	△8,365	△7,813
投資有価証券の取得による支出	△305,471	△55,476
投資有価証券の売却による収入	50,531	152,657
敷金及び保証金の差入による支出	△12,370	△35,278
敷金及び保証金の回収による収入	—	20
長期貸付金の回収による収入	74	75
保険積立金の解約による収入	16,320	—
その他	△10,746	△6,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478,890	△27,005

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△92,000	292,000
長期借入れによる収入	1,600,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,050,315	△1,144,367
リース債務の返済による支出	△2,027	△5,076
株式の発行による収入	21,386	—
配当金の支払額	△29,054	△29,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	447,988	113,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,249	△190,089
現金及び現金同等物の期首残高	472,026	507,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	383,777	317,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,217,448	7,651,642	498,727	20,367,819	—	20,367,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	9,882	28,648	38,533	△38,533	—
計	12,217,451	7,661,524	527,376	20,406,352	△38,533	20,367,819
セグメント利益又は 損失(△)	△88,199	565,234	△153,124	323,910	△433,938	△110,028

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△433,938千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,359,257	7,724,881	1,271,337	22,355,475	—	22,355,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	13,052	48,379	61,431	△61,431	—
計	13,359,257	7,737,933	1,319,716	22,416,907	△61,431	22,355,475
セグメント利益又は 損失(△)	△97,546	464,759	△40,505	326,707	△434,530	△107,823

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△434,530千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。